

第8回会議 第1部会論点整理表

NO.	頁	項目	小項目	該当箇所	意見	意見に対して
1	P12 P13	基本目標2	基本政策4	目標像	3つの目標像と3つの施策があるが、順番を合わせると見やすいのではないかと。	(事務局) 子ども達が心身ともに健やかに成長し、社会で自立して生きていく力を培う教育を行うことを先に目標像として掲げるべきと考えた。また、教育環境の整備を目標像の2つ目、地域との連携を目標像の3つ目とした。
2	P12 P13	基本目標2	基本政策4	—	基本政策4「社会で自立的に生きていく」よりも、「社会で自立して生きていく」と表現した方が良いのではないかと。	(事務局) 基本構想部分であり、議会提案しているので、現時点での修正は難しい。
3	P12 P13	基本目標2	基本政策4	施策3	ボランティア活動や障害児との関わり、福祉施設との連携も重要であることから、「福祉との連携」といった視点を加えるべきではないかと。	
4	P12 P13	基本目標2	基本政策4	施策3	障害児と健常児が同じ学級で学ぶ機会が多くなってきているので、「教職員の更なる資質能力の向上」も重要かもしれないが、「教職員の増員」も必要ではないかと。	(事務局) 教職員の定数については、道教委の配置基準に基づき定められるので総合計画の中で盛り込むことは難しい。30人学級など、本市独自の取組により、教職員の増員を図っているところである。
5	P12 P13	基本目標2	基本政策4	施策3	道教委は、教職員の人数を減らしていく方針と聞いた。教職員の人数を減らすべきではないと考えており、関係団体を通じて道教委に要望している。	(事務局) 市の教育委員会としても、教職員の定数の改善や増員を道教委に要望しているところである。
6	P12 P13	基本目標2	基本政策4	施策3	地域包括ケアシステムは、子どもや学生と高齢者との世代間交流を進めて行くという考え方もある。要支援の方を含めた地域の人材を教育の場に活用していくことも大事な考え方である。	
7	P12 P13	基本目標2	基本政策4	施策3	核家族化や共稼ぎ世帯の増加により、親が子どもを教育する時間が少なくなった。家庭環境が良くない。市内の特定非営利活動法人が、各児童センターの指定管理者として様々な活動を行い、子ども達の居場所づくりをしている。こうした取組を進めていくことが重要である。	
8	P12 P13	基本目標2	基本政策4	施策3	(委員) 10月3日にオープンする北彩都子ども活動センターに、児童福祉や教育に関する専門家を配置する必要があるのではないかと。	
9	P12 P13	基本目標2	基本政策4	施策3	留守家庭児童会の年齢制限はどうなっているのか。	(事務局) 昨年度までは、小学1年から3年までが対象であったが、今年度から小学6年まで拡大している。
10	P12 P13	基本目標2	基本政策4	施策3	小学3年生でも留守家庭児童会に入れない児童会もあると聞いた。留守家庭児童会の現状はどうなっていて、市では今後どのように進めて行くのか。	(事務局) 留守家庭児童会の定員を増やしてきているが、指導員や場所の確保といった課題がある。東光や永山などの住宅地では、空き家などを活用している。今後の少子化や財政面を考慮しながら、計画的な運営を進めていく。

11	P12 P13	基本目標2	基本政策4	現状と課題	「上川管内の学力状況は、全道14管内の中で上位水準にあります」とあるが、全国的に見ると低い水準であることもしっかりと現状認識すべきではないか。	
12	P12 P13	基本目標2	基本政策4	施策2	学校の教室の窓がはめ込み式のため、開けることができない。教室の前後の窓は開けることができるが、網戸がなく、開けると蜂が入ってくるので、教室の前後の窓も開けることができない。基本的な教育環境の整備を早急に進める必要がある。	
13	P14 P15	基本目標2	基本政策5	施策3	カムイスキーリンクスは、海外からのスキー客が増えてきており、旭岳は、スノーボードのメダリストが来ている。雪質の良さは「世界にきらめく」ことができるポイントではないかと思う。12年後、このような「世界にきらめく」ものが増えていればと思う。	
14	P14 P15	基本目標2	基本政策5	施策2	俳句甲子園で、東高が全国準優勝した。このような取組を学校の中から市民へ広げていく方策を考える必要がある。	(事務局) 子どもの頃から文化や芸術に親しむことは大事なことであるが、こうした取組が若い世代などの市民に広がっていないことが課題である。
15	P14 P15	基本目標2	基本政策5	施策3	当麻町では、テニスの国際大会経験者が子ども達の指導を行うなど、テニスに力を入れて取り組んでおり、全国強化選手もいる。旭川は、それぞれのスポーツごとに指導を行っているが、子どもの将来を見据えた指導体制づくりが必要ではないか。学力も重要であるが、体力づくりも重要である。	(事務局) 教職員と地域の指導者が連携して、少年団や部活動の指導を行っていくことが重要と考えている。スキー授業を行う学校が少なくなった時期もあったが、現在は市内の全小中学校でスキー授業を行うこととしている。
16	P14 P15	基本目標2	基本政策5	施策1	様々な施設がオープンしているが、単なる貸館・貸室や体育館ではなく、コーディネート機能を持たせないといけない。生涯教育の機会やサークル同士の交流などのコーディネート機能を持たせるべきと考える。	
17	P14 P15	基本目標2	基本政策5	施策3	パーサーロペット・ジャパンをはじめ、様々なスポーツイベントが開催されており、協賛企業が増えてほしいと思う。地元企業との連携も重要である。	
18	P14 P15	基本目標2	基本政策5	施策3	スポーツをやっている社会人が少ない。スポーツの裾野を広げていくことが重要である。	
19	P14 P15	基本目標2	基本政策5	施策3	上川や下川は、オリンピックでも活躍できるようなスキージャンプの選手を多く輩出している。以前、旭川にスキーのジャンプ台があったが、今はない。市がスポーツ選手の育成に積極的に取り組むべきと考える。	
20	P14 P15	基本目標2	基本政策5	施策3	スポーツイベントで地域の特産品をアピールするなど、旭川の経済活動の一環として取り組んでいってはどうか。	
21	P14 P15	基本目標2	基本政策5	施策3	旭川には、スポーツイベント等のスポンサーになろうという地元企業が少ないのではないか。良い選手が旭川市以外に出て行ってしまふ。	(委員) 旭川のスキーが下火になってきたのは、社会人(企業)のスキー部がなくなったことが大きい。 (委員) 今の親世代は、スキーをしない人が多い。

22	P14 P15	基本目標2	基本政策5	施策3	サイクリングロードの一部が閉鎖している。 サイクリングのために旭川を訪れる外国人観光客もおり、観光資源としても活用できるのではないかと。	
23	P14 P15	基本目標2	基本政策5	施策3	スキー教室を受講するために、旭川を訪れる人もいる。そういったセールスの仕方もあると思う。 旭川のために何かをしたいというボランティア精神を持った人が多いと思うので、こうした人材を活用すべきであり、支援体制が必要である。	
24	P26 P27	基本目標5	基本政策11	現状と課題	「地域における担い手の高齢化やリーダー不足」とあるが、この課題は本当に深刻で、全く機能していない町内会や市民委員会もある。町内会や市民委員会がなくなると、市民生活に大きな影響があるので、町内会や市民委員会への支援に力を入れて取り組むべきと考える。 特に若い人の力が重要と感じている。大学生の町内会への関わりはどうか。	(委員) 児童会や障害児へのサポートなど、子どもを介して地域と関わりを持っているが、町内会への直接的な関わりは少ない。学生にとってボランティア活動を行うことは良いことであるが、窓口がないと難しい。 (委員) 地域包括支援センターと連携しているが、学生が個人的に町内会に関わることは少ないのではないかと。
25	P26 P27	基本目標5	基本政策11	現状と課題	町内会に加入しているが、町内会がどのような活動をしていて、町内会費がどのように使われているのか分からない人が多いのではないかと。 集合住宅に住んでいると、町内会からの情報が少ないように感じる。 現役世代が参加しやすい町内会になればと思う。	(委員) 町内会に入らなくても生活に困らないと考えている人が多い。 ごみステーションの設置や街灯の維持・管理などを町内会が行っていることがあまり知られていない。 日常生活の中で、町内会は大きな役割を担っており、町内会側からの声かけや情報提供は重要である。
26	P26 P27	基本目標5	基本政策11	現状と課題	「公共的課題の解決」ではなく、「地域課題の解決」とした方が良いのではないかと。 多様なNPO法人があるため、NPO法人と一括りにするのはどうかと思う。	(事務局) 市民委員会や町内会に除排雪の手伝いをしていただいている地域もあり、こういった公共的課題の解決に向けた役割の一翼を地域にも担っていただくという考え方から表現したものである。

第8回会議 第2部会論点整理表

NO.	頁	項目	小項目	該当箇所	意見	意見に対して
1	P22 P23	基本目標4	基本政策9	目標像 施策2	目標像に「持続可能な自然共生社会」という表現を加えてはどうか。 施策2に「持続可能」、「循環共生型社会」という表現を加えてはどうか。 また、施策2では「3R(排出抑制, 再使用, リサイクル)の取組を着実に進め」とあるが、特に「2R(排出抑制, 再使用)」の推進が重要であることを強調してはどうか。	
2	P22 P23	基本目標4	基本政策9	現状と課題	旭川にサケが帰ってくるなど、市民をはじめとした様々な取組の成果が徐々に現れている現状などについて、表現すべき。	
3	P22 P23	基本目標4	基本政策9	現状と課題	「生息場所の悪化」とあるが、どのような意味で捉えているか。 近年、シカやキツネが人目につくような場所に出没し、農作物などに被害を与える事例も発生しているが、様々な要因があり、動物だけが悪者ではない。 「悪化」というよりも「変化」として捉えた方がよいのではないか。	
4	P22 P23	基本目標4	基本政策9	全体	環境負荷低減のためには、自転車専用道路の整備など必要な手段であり、「公共交通への転換」や「自転車利用の促進」などの表現を加えてはどうか。	
5	P22 P23	基本目標4	基本政策9	全体	低炭素社会の形成を図る上で、森林をはじめとした自然に係る施策や公共交通などに係る施策はどこに位置づけられているのか。 施策3など、関連する部分に公共交通を積極的に利用するような表現、また、森林保全についても触れる必要があるのではないか。	(事務局) 低炭素社会の形成には、公共交通の利用促進や森林保全は必要な要素と考えているが、その一方、森林の保全については、本市固有の自然環境を守るという視点や公共交通については、都市の賑わいや快適性の創出など様々な役割などがあり、関連する政策の連携を図りながら、進めていく必要があると考えている。 (部会長) 公共交通や森林保全については、様々な役割があることから、一義的にどの政策に表現するかを考えた上で原案となっていると理解している。なるべく表現が再掲とならないように配慮が必要。
6	P24 P25	基本目標4	基本政策10	全体	近年、道路交通法の改正により、自転車通行のルールが変わったが、自転車専用道路など、自転車にとっても歩行者にとっても安全な環境を確保するような取組が必要ではないか。	
7	P24 P25	基本目標4	基本政策10	全体	安全性を表現していく前段として、本市が持つリスクを把握することが必要である。 家畜の伝染病の蔓延や老朽化した公共施設の対応など、リスクを表のような形で表現してはどうか。そうすることにより、リスク把握が予防・予知、対策につながっていく。 また、本市に限らず、大規模災害時においては、災害ボランティアを調整する機能などが弱いことから、そうした対応を平時から整えることが必要。	(事務局)公衆衛生については、基本政策2の中で示しているが、家畜伝染病などの安全性の確保などは、その他、基本政策6の農畜産業の取組などとの連携となり、公共施設の老朽化対策については、基本政策8の中で示している。
8	P24 P25	基本目標4	基本政策10	全体	防犯カメラの抑止力は大きく、防犯に対する啓蒙にもなるのではないか	(事務局) 個人情報の保護なども考慮しながら検討する必要がある。
9	P24 P25	基本目標4	基本政策10	目標像	住民などによるソフト対策や国や道など関係機関の連携も重要であるが、市によるハード対策がまず必要と考えるが、それらについての表現はあるか。 また、国においては、これからも治水等様々な取組を進める必要があることから、計画期間内に「災害に強いまちが形成されています。」という目標像を達成することは非常に困難と思われることから、表現については検討が必要と思われる。	(事務局) 施策1の「大規模自然災害等に即応できる体制・機能の充実」という部分で表現している。

10	P24 P25	基本目標4	基本政策10	全体	近年、消費者に対する多様な犯罪が発生していることを認識として示すために、「消費生活の安定と向上を図り」という表現を犯罪と併せてはどうか。	(事務局) 特殊詐欺などについては、施策2で示している。
11	P24 P25	基本目標4	基本政策10	全体	インターネット犯罪が多発し、被害も増大していることから、特殊詐欺と併せて表現してはどうか。	
12	P24 P25	基本目標4	基本政策10	全体	安心は様々な取組の結果、得られるものであることから、評価が難しいものである。 また、目指すべきものは「安全」である。	
13	P24 P25	基本目標4	基本政策10	全体	本市では、消防団に若い人が少ない。また、新たに消防団に加入をするような予備軍もすくない印象がある。入りやすく活動しやすいような環境整備を図ることが重要である。 災害が少ないという本市の特性に安心しないよう不断の努力が必要である。 災害訓練が学校でも恒常的に取り組まれ、活動していることが「ステイタス」となり、将来的な防災力の強化につなげることが求められる。	
14	P24 P25	基本目標4	基本政策10	現状と課題	市民に注意喚起を促すため、「近年、異常気象が頻発している」との表現を現状と課題に加えてはどうか。	
15	P24 P25	基本目標4	基本政策10	全体	安全・安心については市民の自主的活動が重要となるが、現状は防災、火防、防犯、交通などが個別に活動しており連携が乏しい。市が市民委員会等を通じて各組織が有効に連携できるようにするべきである。具体的には市民委員会や町内会レベルでは例えば「安全部」という名称で大きく括り活動するのが望ましいと思われる。	
16	P24 P25	基本目標4	基本政策10	全体	災害が無いからだと思うが、旭川市民は防災に対して関心が無い。いつ起こるか分からないが地震、大規模自然災害になった時の場合を考えて防災の研修会、防災訓練などを実施する。	
17	P28 P29	基本目標5	基本政策12	施策1	施策1に「住民福祉の増進」とあるが、具体例を挙げるなど、分かりやすい表現とした方がよいのではないか。	
18	P28 P29	基本目標5	基本政策12	全体	圏域の取組を世界にまで広げる取組も重要であると考ええる。	
19	P28 P29	基本目標5	基本政策12	全体	近年では、ユジノサハリンスク市との経済交流の取組があるが、そういったものも加味してはどうか。	
20	P28 P29	基本目標5	基本政策12	全体	モンゴルやロシアなどとの経済交流には様々なリスクが伴う場合もある。	

21	P28 P29	基本目標5	基本政策12	全体	様々な取組を進めているが、相手国側の考えや方向性もあり、現状では難しい面が多いが、時間をかけながら地道な取組を進めていくことは必要である。	(部会長) 経済交流など、様々な取組を圏域全体で進めてきており、これからも国際競争力強化に向け、更に力を入れていく必要がある。
22	P28 P29	基本目標5	基本政策12	全体	基本政策12に広域連携での取組としては、経済、防災などのほか、教育や自然環境の保全など、様々なものがあることがわかるような表現を加えていくことの検討が必要ではないか。	(部会長) 先ほどの、海外都市との関わりも含めて、現状認識として、現状と課題に加えてはどうか。
23	P28 P29	基本目標5	基本政策12	全体	本市のほか、近隣町などがそれぞれの役割を生かし、圏域全体で向上していくように進める必要がある。	
24	P28 P29	基本目標5	基本政策12	全体	活性化のために高齢者を呼び込むという考えもあるが、介護保険料の問題など、国のシステムとして解消しなければならない課題がある。	
25	P30 P31	基本目標5	基本政策13	全体	基礎自治体として、市民の暮らしに関わる基本的な行政サービスを提供することが、まず書かれるべきではないか。	
26	P30 P31	基本目標5	基本政策13	施策1	施策1は、冒頭で、職員研修、人材育成について示しているが、より市民にとって重要である市民サービスや広聴広報機能などについての表現を加えるべきではないか。 また、自然災害などについては、基本政策10に含んではどうか。	(委員) 基本目標5は、市民・地域、広域、行政運営とまちづくり基本条例に沿った形で整理されており、それを変える必要は無いのではないか。
27	P30 P31	基本目標5	基本政策13	施策1	施策1の「新たな課題に果敢に挑戦する組織風土を醸成する。」という部分は、非常によい。失敗を恐れずに、正しい方向へ進む人材育成は重要である。	(各委員) 同様な考えである。
28	P30 P31	基本目標5	基本政策13	全体	人口減少の原因は、働く環境の確保、ワーキングプアの問題がある。正規職員の増加や臨時職員の環境改善などの考えを示す必要はないか。 ただし、市民サービスを削ることなく、労働環境の改善を図っていくことが必要。 また、職員だけでなく、公共工事の受注者の労働環境の改善も検討する必要がある。	
29	P30 P31	基本目標5	基本政策13	全体	高齢化や担い手不足が進む中、職員教育を充実させ、サービスの向上など、市民の理解を深める取組を図ることは重要。	
30	P30 P31	基本目標5	基本政策13	全体	最近、新庁舎整備が話題になっているが、市民サービスの向上につながる職員の資質向上、スキルアップを図られていかなければならない。	
31	P30 P31	基本目標5	基本政策13	施策2	施策2に「保有財産の計画的な売却促進」との表現があるが、「再利用や有効利用のほか、売却促進などを進める」とのような表現にしてはどうか。	(事務局) 喫緊の課題として、北彩都エリアの土地の売却促進が重要であるとの考えからこのような表現としている。

32	P30 P31	基本目標5	基本政策13	全体	ここで示す「市職員」とは、「市の業務を担っている者」という理解でよいか。そうであれば、市職員自身の「市民」としての立場や役割はどのように考えているか。	(事務局) 市職員についても市民であり、その考えについては、基本政策11に示している。
33	P30 P31	基本目標5	基本政策13	全体	近年、市が市民の声を直接聞くタウンミーティングなどが多く行われているが、間接民主主義として、日ごろから市民の声を聞くべき議会の役割がある中、もう少し効率的な市政運営を進めるような仕組みを検討してはどうか。	(委員) 市民との対話を重要視している市長の政治姿勢が表れているのではないか。
34	P30 P31	基本目標5	基本政策13	全体	市役所職員は職務上、一般市民よりも市に関する情報を豊富に所有しており、民間と情報や知恵を出し合えば、旭川市の資源をフル活用して画期的な事業を展開していくことが可能と思う。市役所の職員一人々が旭川市のセールスマンとして知恵を出し力を発揮してくれるという視点が必要と思う。	